安全運転管理者会報

vol. 594
2026.9月発刊

発行所・責任者：(一社) 山口県安全運転管理者協議会　☎083-973-1578
〒754-0002 山口県山口市小郡下郷3560番地2 (山口県総合交通センター内)
[責任者] 高山龍夫　[奇数月/10日発行]　https://www.yamaguchi-ankan.or.jp/

県内の交通事故

8月31日現在　※(　)内は前年同期

発生	死者	傷者
1,392件 (1,475)	26人 (20)	1,637人 (1,766)
[増減] −83件	[増減] 6人	[増減] −129人

10月の目標

薄暮時の交通事故防止
ライト早期点灯の推進
帰社・退社時の安全意識保持



実施事項

- 状況に応じたハイビーム使用
- 夜間の横断者・無灯火自転車への警戒徹底
- 夜間・悪天候時の減速徹底

11月の目標

高齢者の交通事故防止県民運動（9日～15日）
道路横断時等における高齢歩行者の安全確保
高齢運転者の安全運転意識の向上と行動の徹底
自転車ヘルメットの着用等の安全利用の促進
反射材用品の着用及びハイビーム活用の促進

実施事項

- 高齢者の交通事故防止県民運動への参画
- 高齢者発見時の減速・停止励行
- 高齢運転者標識車両への思いやり運転推進
- 反射材着用とハイビーム活用の普及促進

高速道路故障時の対応

1. **ハザードランプを点灯し、できるだけ路肩に寄せて停止**
2. **他の乗員がいる場合は、ガードレールの外側など安全な場所に避難させる**
   ・車内や路肩などで待機すると、後続車に衝突されて死傷する危険があります
3. **発炎筒などで後続車に合図し、停止表示器材を故障車の後方に設置**
4. **110番で警察に故障の発生を通報し、非常電話でレッカー移動等を要請**
   ・非常電話を使った場合、高速道路管理者に通報場所が自動的に伝わります
5. **ガードレールの外側など安全な場所に避難**

高速道路緊急時の3原則	①ハザード点灯での路肩駐車 ②車内に残らない ③安全な場所に避難する

県下統一行動日

- **10月5日 (月)**
  「横断歩道ハンドサイン運動推進」の日
- **10月9日 (金)**
  「反射材・ハイビーム活用促進」の日
- **10月15日 (木)**
  「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日
- **11月5日 (木)**
  「横断歩道ハンドサイン運動推進」の日
- **11月9日 (月)**
  「反射材・ハイビーム活用促進」の日
- **11月15日 (日)**
  「高齢者の交通事故防止」を呼びかける日

安管統一行動日

- **10月1日 (木)**
  「事務所付近での街頭立哨」の日
- **11月19日 (木)**
  「スピードダウン」を呼びかける日

エコドライブのチェックアドバイス
～減速時は早めにアクセルを離そう～

信号が変わるなど停止することがわかったら、早めにアクセルから足を離しましょう。そうするとエンジンブレーキが作動し、2%程度燃費が改善します。
また、減速するときや坂道を下るときにもエンジンブレーキを活用しましょう。

エコドライブは、環境にも経営にもやさしい
何よりも、交通事故防止につながります

交通安全スローガン　**住みよい山口 いつも心に 交通安全**

令和8年 住みよい山口 いつも心に 交通安全

交通安全シンボルマーク

秋の全国交通安全運動

［実施期間］10日間
9月21日(月)～30日(水)

運動の重点

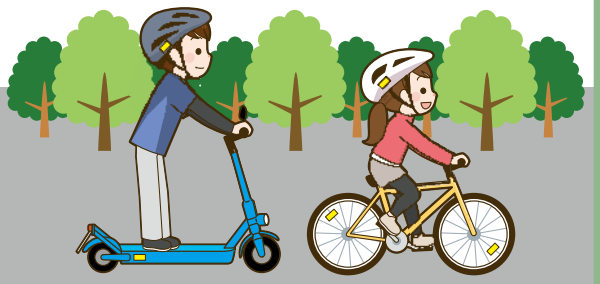
歩行者
歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進



自動車
夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶



自転車
自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底



県重点
高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進



県下の統一行動日

9月24日(木) 歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進を呼びかける日
9月25日(金) 夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶を呼びかける日
9月28日(月) 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底を呼びかける日
9月29日(火) 高齢者を交通事故の被害者にも加害者にもさせないための取組の推進を呼びかける日
9月30日(水) 交通事故死ゼロを目指す日（全国統一行動日）

主催:交通安全山口県対策協議会 問合せ先 事務局 環境生活部県民生活課 TEL 083-933-2619

生活道路※における自動車の法定速度が引き下げられます!!

令和8年9月1日
改正道路交通法施行令施行

60km/h → 30km/h

※ここでいう「生活道路」とは、主に地域住民の日常生活に利用されるような、中央線などがない道路のことです。



▼ 以下の道路における自動車の法定速度は引き続き60km/hです ▼

1. 道路標識又は道路標示による中央線又は車両通行帯が設けられている一般道路



2. 道路の構造上又は柵その他の工作物により自動車の通行が往復の方向別に分離されている一般道路



3. 高速自動車国道のうち、本線車道並びにこれに接する加速車線及び減速車線以外のもの

4. 自動車専用道路

◆道路標識又は道路標示により最高速度が指定されている道路では、その速度が最高速度となります。例えば、道路標識により最高速度が40km/hと指定されている生活道路では、最高速度は30km/hではなく40km/hとなります。

◆決められた速度の範囲内であっても、道路や交通の状況、天候や視界などをよく考えて、安全な速度で走りましょう。

山口県警察

コースアウト4(し)ない運動Plus

～無事故でカエルために～



山口県では、運転中に**対向車線や道路外へとはみ出す**(コースアウトする)交通事故が多発しています。これらの原因として考えられる運転中の**4つの行為**(ぼんやり・脇見・居眠り・スマホ(携帯電話)使用)を『しない』ことで事故防止を図る運動が**コースアウト4(し)ない運動**です。

①ない ぼんやりしない



②ない 脇見しない



③ない 居眠りしない



④ない スマホ(携帯電話)を使用しない



さらに上をいく…！ **Plus(プラス)とは…!?**



ぼんやりしない・脇見しない・居眠りしない・スマホ(携帯電話)を使用しないという4つの項目に加え、他の重大事故の防止や事故発生時の被害を最小限に抑えることに着目し、**新たに3つの項目を追加しました。**



スピードをひカエル(控える)



その速度、道路状況に合っていますか？

スピードを出し過ぎると…



運転は、認知、判断・予測、操作・行動の連続です。スピードが速くなると、**危険の発見が遅れ**、慌ててハンドルを操作しても、**回避できずに衝突**してしまう可能性が高くなります。

無理な運転をひカエル(控える)

疲労や体調不良で集中力が低下していませんか？

こまめに休憩をとり、体調を万全にしてから運転しましょう。

初心を振りカエル(返る)



キープレフトのほか、正しい運転姿勢や
正しいシートベルトの着用(同乗者含む)を意識していますか？

免許を取り立ての頃の緊張感と安全第一の心を忘れないで…



山口県警察

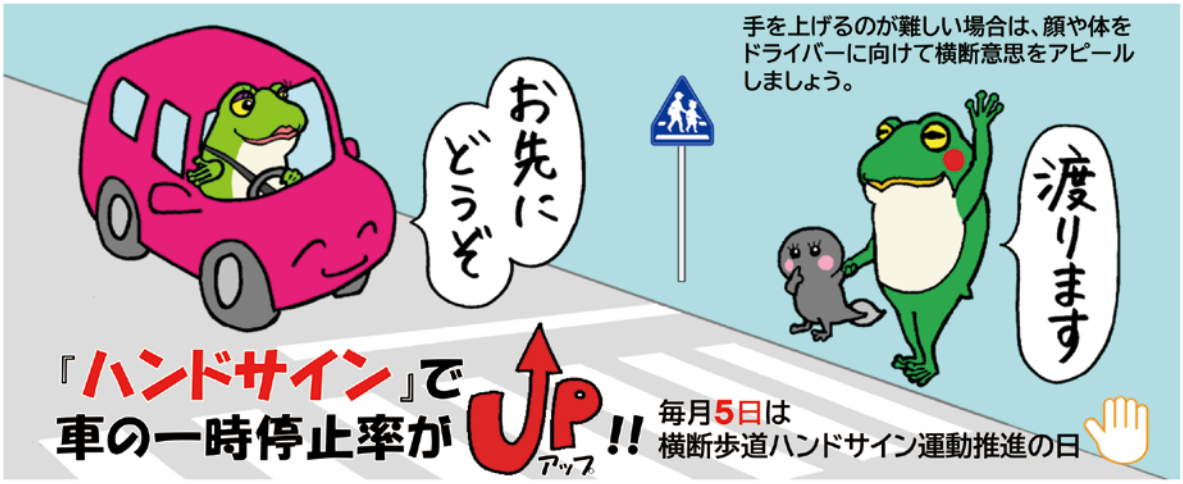
無事故でカエルために



山口県で実施されている交通安全施策をご紹介！
みんなで実践して、交通事故を防止しましょう！

横断歩道ハンドサイン運動

信号機のない横断歩道において、歩行者による「渡ります」のハンドサイン、ドライバーによる横断しようとする歩行者に対する「お先にどうぞ」のハンドサインを実践し、歩行者の安全確保と歩行者優先意識の高揚を図ります。

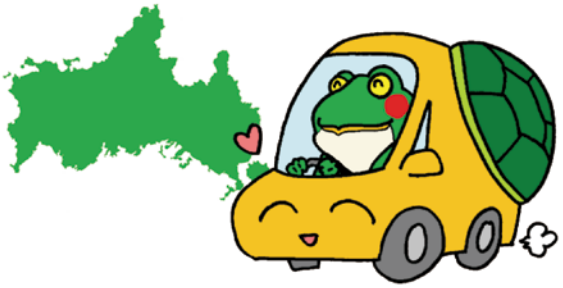


『ハンドサイン』で車の一時停止率がUP（アップ）!!

毎月5日は
横断歩道ハンドサイン運動推進の日

スピードダウン県民運動

スローガン
減速で ゆとり運転 防長路



交通事故の衝撃力は、皆さんが思っている以上に大きな力です。
スピードが速くなると、その分衝撃力も大きくなります。運転者だけでなく、同乗者や周囲の人にも危害が及び、時には命に関わる事態に…
速度を控えて安全運転に努めましょう。

反射材・ハイビーム活用促進県民運動

スローガン
9(く)っきり目立とう! 9(く)らい道



夕暮れ時から夜間にかけて、『歩行者』と『車』の交通事故が多く発生しています。
『反射材』と『ハイビーム』で悲惨な交通事故を一件でも減らしましょう。

毎月9日は「反射材・ハイビーム活用促進の日」

山口県警察



人生100年時代、
これからも安全で快適に
運転するために…

実技・座学講習会

ドライバーズセミナー ～シニアコース～ 参加者募集！

※事前予約制※

●開催日時・場所●

10/24（土）

12:30 ～ 16:30

場所：山口県総合交通センター

●講習内容●

ドライバーズセミナー シニアコース

実技講習会

※マイカーを使用します！

■車の死角
■スラローム走行
■急ブレーキ
■見通しの悪い交差点
など

＋

いきいき生活応援隊

座学講習会

■なるほど！と気づく、楽しむ作業療法士による安全運転のための「運転力」向上講座
■教えて！ＪＡＦ先生！

JAF ロードサービス隊員や作業療法士による「身近な危険」を防止するための座学講習会です

□参加対象：
50 歳以上の
ベテランドライバー

□定員：10 名（最少催行 5 名）
※応募多数の場合は抽選

□参加費用：
ＪＡＦ会員または交通安全協会会員 → 1,100 円
一般 → 2,200 円

共催：JAF、一般財団法人全日本交通安全協会
後援：警察庁、国土交通省、山口県、山口県警察
一般財団法人山口県交通安全協会
一般社団法人山口県安全運転管理者協議会
協力：一般社団法人日本作業療法士協会
一般社団法人山口県作業療法士会

詳細・お申込みは WEB（下記二次元コード）から↓

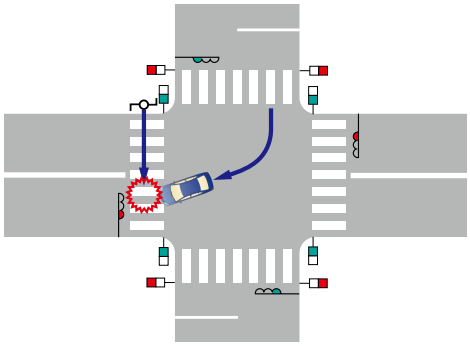
JAF 山口支部
電話：083-921-7777（平日 10:00～17:00）

3502-2607-J2607-2711

薄暮時における横断歩行者との事故防止

事故の概要

午後6時頃、市道交差点において、男性が運転する普通乗用車が横断歩道を右から左に横断中の歩行者（高齢女性）に衝突し、歩行者が死亡する交通事故が発生しました。



道路環境等

- 市街地、交差点
- 前照灯ロービーム
- 反射材着用なし

検討項目

- この事故の要因として考えられること
- 同種事故の防止を図るために、安全運転管理者として行う対策

安全運転管理のアドバイス

1　事故原因

運転者が交差点を右折する際、進路遠方をぼんやりと眺めた状態で運転することや、進行方向やその周囲をよく見ずに運転することにより、横断歩道を右から左に横断中の歩行者に気付くのが遅れて交通事故となったと考えられます。

2　薄暮時の交通事故防止

最近は、日没時間が急激に早まり、現場や営業先から帰社する時間帯や退社時間帯には既に周囲が暗くなっているのではないでしょうか。

周囲の明るさによって対向車や道路、その付近の見え方は大きく変わります。

特に薄暮時の明るさの変化は大きく、急激に視界が狭くなるとともに、安全確認も十分にできなくなる場合があります。

明るい時間帯と同じような速度、安全確認方法で運転していては、交通事故の危険性は当然高まりますので、特に交差点では周囲をよく確認するとともに、速度は控え目かつ慎重に運転しましょう。

3　同様の事故を起こさないために

⑴ 早めの前照灯点灯とハイビームの効果的な活用

夕暮れ時は、周囲が暗くなる前に前照灯を点灯し、自動車の存在をアピールしましょう。

また、ハイビームとロービームを効果的に使い分けることが重要です。

ハイビームとロービームは、「ライトが照らす範囲」が違います。

ハイビームは約100メートル先まで照らすのに対し、ロービームは約40メートル先までしか照らすことができません。

更にロービームは、対向車のドライバーが眩しくないように、進路右側を照らす範囲が制限されており、進路右側の歩行者を発見しづらくなります。

ハイビームとロービームをこまめに切り替え、歩行者や自転車を早期に発見し、交通事故を防ぎましょう。

⑵ 死角に配意した安全確認

車両には、車体に隠れて見えない死角や、ミラーでは見えない死角があり、意識していないと死角に潜む危険に気付きにくいほか、死角になる部分は車の移動とともに変化します。

特に右左折する際は、車両のピラーが死角となり、位置関係によっては歩行者が完全に隠れてしまい発見が遅れることがあります。

横断歩道や交差点を通過する際は、手前で十分に速度を落とし、上半身を左右に動かして死角部分を確認するほか、交差点を右折する際は、交差点の中心の直近の内側を徐行し、内小回りを心掛けるなど、死角を意識した運転をしましょう。

⑶ 反射材の積極的な着用

反射材は自動車のライト等を反射し、歩行者や自転車の存在を自動車運転者に知らせることができる、夜間の交通事故防止に効果的なグッズです。

たすきやリストバンド、キーホルダーのほか、反射素材で作られたエコバッグ等様々な種類がありますので、使いやすい反射材を選んで、積極的に身に着けましょう。

徒歩や自転車通勤の方はもちろん、車通勤であっても、職場から駐車場までの移動時などには反射材を身に着け、ドライバーに自分の姿を早く発見してもらえるようにしましょう。

山口県の交通事故発生状況

1　7月末の交通事故発生状況

区　分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数	物損事故発生件数
令和8年7月末	1,216	24	1,422	21,484
令和7年7月末	1,288	16	1,540	21,124
前　年　比	-72	8	-118	360

2　横断歩道横断中の死者及び負傷者

区　分	死者数	負傷者数
令和8年7月末	2	82
令和7年7月末	2	65
前　年　比	0	17

3　安管事業所従業員が主原因となった交通事故の発生状況（私用中の事故を含む）

区　分	人身事故発生件数	死者数	負傷者数
令和8年7月末	189	3	213
令和7年7月末	122	1	139
前　年　比	67	2	74
構　成　率	15.5%	12.5%	15.0%

※構成率は、全人身事故発生件数に占める安管事業所従業員が主原因を作った交通事故件数

令和８年度安全運転管理者等講習の早期予約について

令和8年度の安全運転管理者等講習については、8月末時点でその半数以上を終了いたしました。
本講習の予約をされていない管理者の皆様は、郵送した講習案内をご確認の上、早期の予約をお願いいたします。

令和８年交通安全 年間スローガン

◉シニアでも　心にワカバを　貼りましょう
◉その隙間　すり抜けるさき　待つ危険
◉あせらずに　青になっても　再確認

山口県交通安全協会・山口県安全運転管理者協議会

10月の目標

薄暮時の交通事故防止
ライト早期点灯の推進
帰社・退社時の安全意識保持
県下統一行動日
横断歩道ハンドサイン運動推進の日……5日（月）
反射材・ハイビーム活用促進の日……9日（金）
高齢者の交通事故防止を呼びかける日……15日（木）
安管統一行動日
事務所付近での街頭立哨の日……1日（木）

山口県安全運転管理者協議会

11月の目標

高齢者の交通事故防止県民運動（9日～15日）
道路横断時等における高齢歩行者の安全確保
高齢運転者の安全運転意識の向上と行動の徹底
自転車ヘルメットの着用等の安全利用の促進
反射材用品の着用及びハイビーム活用の促進
県下統一行動日
横断歩道ハンドサイン運動推進の日……5日（木）
反射材・ハイビーム活用促進の日……9日（月）
高齢者の交通事故防止を呼びかける日……15日（日）
安管統一行動日
スピードダウンを呼びかける日……19日（木）

山口県交通安全協会